

氷を60分ちょうどで溶かせ

| 実施期間 | 実施国 | 共同実施機関 | 対象 | 参加者 | 本学担当教員 |
|-----------------------------|-----|-------------------------------------|--|--|--|
| 2023年08月15日 ～2023年08月22日 | 日本 | 台湾科技大学 ウィディアマンダーラカトリック 大学スラバヤ | ・応用化学科 ・学部1年生、学部2年生、学 部3年生、学部4年生 | (芝浦工業大学) 学生9名、学生バイト12名、 教員3名 (台湾科技大学) 学生15名、教員2名 (ウィディアマンダーラカトリッ ク大学スラバヤ) 学生15名、教員2名 (津田塾大学) 学生4名 | 吉見 靖男(応用化学科)、李 沁潼(応用化学科)、 廣井 卓恩(応用化学科) |



図1 鎌倉でのエクスカーショ

本学にて、「3.5 kgの氷を60 minちょうどで溶解する」という競技を、行った。インドネシア、台湾、日本人1名ずつから成る15の国際チームを作り、それぞれ作戦を立てた。テーマを与えられた翌日に、作戦について教員がヒアリングし、甘いところを指摘した。つづいて1.75 kgの氷を使って検証し、作戦を修正した。2ラウンドに渡って、3.5 kgの氷を用いた本競技を行った。図らずも8 minで氷を融かしてしまったチームがあり、参加者全員を驚かせた。結果について検証し、最終日にプレゼンテーションした。鎌倉ツアーや豊洲市場見学のエクスカーショも行った。



図2 氷融かしの場面1



図3 氷溶かしの場面2



図4 豊洲市場にて



図5 フェアウェルパーティー